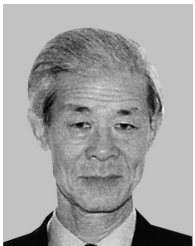


林同春氏が逝去

愛国団結、中日友好に大きな貢献



日本華僑華人聯合總會

顧問、神戸華僑總會名誉会長で、神戸中華同文学会理事長、(社)福建同郷会(神戸)会長などを歴任し、僑胞と日本の友人から親しまれ尊敬を集めてきた在日華僑界のリーダー林同春氏が十一月十九日、病のため神戸で逝去された。福建省福清市出身、享年八五歳。

戸市の開帝廟にて厳肅に執り行われ、故人とゆかりの地元兵庫県と神戸市各界の日本人びと、僑胞と日本各地の華僑華人団体の代表ら多数が参列、故人の逝去を悼み、その冥福を祈った。参式者の列は廟外に溢れた。葬儀に際し、折から訪日中の楊潔篋外交部長は林氏の霊前に生花を贈り哀悼の意を表した。

告別式では鄭祥林駐大阪総領事、井戸敏三兵庫県知事、矢田立郎神戸市長、金翼神戸中華同文学会校長の各氏がそれぞれ弔辞を述べ、生涯を通じて華僑の愛国団結と地位向上のため、中日友好促進と地元神戸の発展と多文化共生社会実現のため尽力した同氏の貢献を讃え、哀惜の念を表した。

林同春氏は一九二五年福建省福清市東澗に生まれ、三五年春、九歳で来日、五〇年神戸に居を移し、在日華僑にとつて最も困難な時代を乗り越えて自らの事業を發展させるとともに、五〇年代より今日まで神戸中華同文学校の再建と発展に力を注ぎ、同校正副理事長を歴任した。六一年から今年で四九回を数える旅日主は長男林伯正氏。

福建同郷懇親会の創立にも尽力し、在日福建僑胞の愛国愛郷と懇親団結に貢献。九五年一月発生の阪神・淡路大震災では華僑震災対策本部長として地域住民と僑胞のため震災対策に奔走した。また全国に先駆けて兵庫県外国人学校協議会の設立に尽力し、九五年同協議会会長に就任し、〇三年以来NPO法人黄河の森緑化ネットワーク代表も務めていた。

福州市榮譽市民、兵庫県「国際功労賞」、「讚賞」、神戸新聞社「平和賞」など受賞。神戸市は同氏の逝去にあたり市特別功労賞を贈った。

東京華僑総会は弔電を送ると共に霊前に生花を捧げ哀悼の意を表した。

夫人は游貴美さん、喪